

平成30年度 健康福祉部 施策展開方針 計画書

1. まちづくり政策（健康福祉部関係分）

政策 03 福祉 ・ 保健 ・ 医療	政策展開の方向性
	<p>全ての市民が生涯を通じて健康に過ごせるよう健康意識の向上と健康づくりの推進に努め、病気や怪我をした際には、必要な治療が迅速かつ適切に受けられるよう地域医療体制と市立病院経営の安定を図ります。</p> <p>また、だれもが安心して生活できるよう保険・医療など社会保障制度の周知に努めるとともに、制度の安定した運営を図ります。</p> <p>さらに、障がいのある方や高齢者が、地域でいきいきと自立した生活が送られるようサービスの充実を図るとともに、市民の地域福祉に対する理解を深め、人材を確保することで、地域全体で支え合う体制づくりを推進します。</p>
	平成30年度に向けての展開方針（方針や重点事業の計画等を記載）
	03-01 地域福祉の充実 <p>・第3期地域福祉計画に基づき、地域福祉活動の基本となる助け合い意識の醸成と地域福祉活動の担い手確保に努めます。そのため、様々な福祉関係機関やボランティア、民生委員・児童委員、自治会、社会福祉協議会等によるネットワークを広げ、「自助・共助・公助」の考え方で、互いに認め合い支え合う地域づくりのための施策を推進します。</p>
	03-02 健康づくりの推進と地域医療の安定 <p>えべつ市民健康づくりプラン21に基づき、生涯にわたっての積極的な健康づくりを推進し、健康寿命の延伸を図り「健康都市えべつ」を目指します。そのため、平成30年度は次の取組を実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食と健康に関する実態調査、生活習慣病予防に向けた野菜摂取の推進、健康チェック体験イベントの実施等、健康意識向上のための取組を行います。 ・乳幼児期からの、生活習慣病予防に視点を置いた食生活や運動などのよりよい生活習慣の定着を図ります。 ・健康診査やがん検診などの推進により、疾病の早期発見、早期治療に結びつけ、合併症や重症化を予防します。 ・市民の生活習慣病の予防や健康の保持増進を目的に、「E-リズム」の普及啓発を行い市民への定着化を図ります。 ・食生活改善推進員や、健康づくり推進員やサポーターとともに地域の健康づくり活動を推進します。
03-03 障がい者福祉の充実 <p>・障がい者支援・えべつ21プラン（第4期障がい者福祉計画・第5期障がい福祉計画）に基づき、「障がいのある方の自立を地域で支える共生社会の形成」に向け、地域で安心して生活ができるよう、保健・医療・福祉・教育等の関係機関との協議や障がいについての理解促進を図ります。平成30年度も、障がいのある方への総合的な相談支援の充実や就労の場の確保に向け、自立支援協議会などを活用しながら関係機関との連携を図るとともに、企業等への広報活動や交流活動を展開します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害のある方の就労に係る包括的な相談窓口において、引き続き、就労に関する相談や定着支援を行うほか、障がい者就労に係る企業の相談や支援を行います。 ・在宅で生活する医療的ケアが必要な障がい児等が安心して過ごせる環境づくりを支援するため、受け入れを行う事業所に対し運営費の一部を補助します。 	
03-04 高齢者福祉の充実 <p>住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、地域包括ケアシステムの深化・推進を図ることを目指し、平成30年度から平成32年度迄の高齢者総合計画（第8期高齢者保健福祉計画・第7期介護保険事業計画）を策定しました。本計画に基づき、平成30年度は主に次の取組を進めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の方が、地域内の交流等の促進をするための支援や安心して暮らせるための福祉サービスの提供を実施します。 ・市民の方への介護保険制度の普及啓発に努め、適正な介護保険事業の運営を実施します。 ・高齢者の自立支援と介護予防の推進に向けて、介護予防・日常生活支援総合事業の実施、医療と介護の連携推進、認知症の方の初期対応支援、成年後見制度に関する相談窓口の運営や市民後見人の育成、そして高齢者の生活を地域で支えあう生活支援体制の整備などの地域支援事業を実施します。 	
03-05 安定した社会保障制度運営の推進 <p>安定した社会保障制度運営推進のため国民健康保険、後期高齢者医療制度の安定的運営を図るとともに、国民年金を受給できない市民を減らし、就労可能な生活保護受給者の就労率向上を図ります。そのため、平成30年度は次の取組を実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国民年金への加入や保険料の納付・免除などに関わる国民年金制度の啓発を行います。 ・平成30年度からの国民健康保険の制度改正に伴い、財政運営の主体が江別市から北海道に変わるため、一層の制度周知を行います。 ・被保険者の健康増進と医療費の適正化が図られるよう第2期国民健康保険保健事業実施計画（データヘルス計画）及び第3期特定健康診査・特定保健指導実施計画に基づいた特定健康診査・特定保健指導の実施並びに保健事業の充実に努めます。 ・後期高齢者医療制度の啓発等により制度の安定に努めるとともに、健康診査等により被保険者の健康の保持増進を図ります。 ・生活保護に至らない生活困窮者の早期把握と個人の状況に合わせた相談支援を行うとともに、多様で複合的な生活課題を抱える生活困窮者の自立を支えるため、福祉関係機関や企業、ボランティア団体などとの連携を図ります。 ・生活保護被保護者の就労実現を目指して、就労支援担当者との面談回数等を増やし、ハローワークと連携を密にしながらか就労支援の取組を強化します。 	

政策の成果指標	単位	(初期値)	H26年度	H27年度	H28年度	目標
市と住民が一体となり協力したまちぐるみの福祉が出来ていると思う市民割合	%	42.1	32.6	37.3	40.0	↗
健康だと思う市民割合	%	82.0	80.6	79.6	78.0	→
自宅で生活している障がいがある方の人数	人	7,600	7,869	7,798	7,637	↗
生きがいを感じている高齢者の割合	%	78.9	76.1	74.3	75.9	↗
介護サービスが充実していると思う市民割合	%	92.1	88.2	91.2	89.8	→
健康福祉部が所管する個別計画または重点事業の進捗状況						
「地域福祉活動支援事業」 ボランティア活動の延べ実施人数	人	6,484	7,224	7,670	7,793	↗
「健康づくり推進事業」 こころの健康づくりや生活習慣病に関する講座や教育、相談の参加者数	人	9,604	11,483	11,009	10,794	↗
「心身障害者自立促進交通費助成事業」 身体障がい者、知的障がい者並びに精神障がい回復者のうち通所サービス決定者数	人	260	202	236	277	↗
「介護保険事業計画」 介護サービス利用者数のうち在宅サービス利用者の割合	%	63.7	63.7	64.8	68.2	↗

政策
06
子育て・教育

政策展開の方向性

子育て環境を充実させることにより、安心して子どもを産み育てられ、就業と子育ての両立もできるまちをつくります。教育では、子どもたちが多様に変化の激しい社会を生き抜いていく力を養成することに主眼をおき、個性を尊重しつつ確かな学力の定着に努めます。安全で安心な教育環境の下で地域社会全体が連携し、次代を担う心身ともに健康な子どもたちを育てます。

平成30年度に向けての展開方針（方針や重点事業の計画等を記載）

06-01 子育て環境の充実

安心して子どもを産み育てられ、就業と子育てを両立できるまちをつくるため、引き続き平成27年度からスタートした「えべつ・安心子育てプラン(子ども・子育て支援事業計画)」に基づき、各施策を着実に展開し、子育て支援施策の充実をめめます。

- ・保育施設の待機児童を解消するため、認定こども園や小規模保育施設等の開設、運営支援を行うとともに、企業主導型保育施設の開設促進を目的としたPR等を新たに行うなどして、安心して保育サービスが利用でき、就業と子育てを両立できる環境整備を進めます。
- ・また、「よつば保育園」の定員を拡大し、待機児童の解消を図るとともに、「やよい保育園」で一時的預かりを実施し、子育て支援体制の拡充に努めます。
- ・通年型施設の子育てひろば「ほこ あ ほこ」や全市的に展開している出前型子育てひろばの「地域あそびのひろば」における子育て支援事業の充実を図るなど、引き続き地域における子育て支援を推進します。
- ・民間放課後児童クラブの開設・運営支援等により、引き続き放課後児童クラブの量的・質的充実を図ります。
- ・公設放課後児童クラブの待機児童対策として、併設する児童センターにおいて、学校から直接児童センターへの来館を可能とするランドセル来館を実施します。
- ・関係機関との連携体制の充実を図るとともに、子どもの発達に関する相談や通所による支援などを通じて、発達に関する不安を軽減し、早い時期から療育が受けられる体制の充実を進めます。

政策の成果指標	単位	(初期値)	H26年度	H27年度	H28年度	目標
子育て環境が充実していると思う保護者の割合	%	44.6	39.2	43.2	45.7	↗
教育施策に満足している保護者の割合	%	78.0	84.1	83.3	89.8	↗
「生きる力」が身についた児童・生徒の割合	%	77.6	76.6	75.8	77.9	↗
健康福祉部が所管する個別計画または重点事業の進捗状況						
「江別市子ども・子育て支援事業計画」保育所定員数	人	990	1,076	1,172	1,220	↗

2. えべつ未来戦略(健康福祉部関係分)

戦 略	■戦略プロジェクト 「関連事業」(担当課)
戦 略 1 ともにつくる協働のまちづくり	
戦 略 2 えべつの将来を創る産業活性化	■2C 雇用の創出と人材育成の支援 「待機児童解消対策事業」【重複】(子ども育成課) 「障害者就労相談支援事業」(福祉課)
戦 略 3 次世代に向けた住みよいえべつづくり	■3A 社会全体で子どもを産み育てる環境づくり 「待機児童解消対策事業」(子ども育成課) 「親子安心育成支援事業(子育てひろば事業)」(子ども育成課) 「あそびのひろば事業」(子ども育成課)
戦 略 4 えべつの魅力発信シティプロモート	

3. 健康福祉部の資源

		実 績			予算額	
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
歳出予算額 (千円)	一般会計 (A)	12,629,025	13,613,485	14,989,386	14,596,887	15,058,958
	特別会計(B)	23,170,879	25,377,281	25,136,020	26,455,000	23,868,000
	・国民健康保険会計	13,355,174	15,377,484	14,978,462	15,318,000	12,216,000
	・後期高齢者医療会計	1,474,595	1,471,514	1,493,191	1,581,000	1,691,000
	・介護保険会計	8,341,110	8,528,283	8,664,367	9,556,000	9,961,000
	合計 (A+B)	35,799,904	38,990,766	40,125,406	41,051,887	38,926,958
正職員人件費 (千円)	人工 (a)	146.05	142.55	147.05	147.05	150.05
	平均単価 (b)	7,853	7,764	7,670	7,703	7,722
	人件費 (a×b)	1,146,931	1,106,758	1,127,874	1,132,726	1,158,686
総 額		36,946,835	40,097,524	41,253,280	42,184,613	40,085,644